ひとまず排水中止を

葦北 漁民 県、工場に苦境訴える

葦北郡の各町村長、議長、漁協

長、漁業調整委員で組織する葦北

沿岸漁業振興対策協議会（会長吉

田葦北町長）は一日午前十時半か

ら湯涌町寿旅館で開き、水俣病の

恐怖で魚介類が売れなくなった当

面の問題について協議した。

まず各漁協長から「魚は獲っても

売れず、生活は日に日に苦しくな

つてくる」と漁民の苦境を訴え、

各漁協ごとに開いた漁民決起大会

で新日窒水俣工場に対して汚水の

浄化設備の急設、汚水放出中止な

どの決議事項を報告、協議会から

早急に工場と県に対策を協議して

ほしいと強い訴えがあった。

なお協議会は実力行使などこと

を荒立てないよう各漁協長に

協力を求め、さつそく二日に県

庁を訪ね漁民の実情を訴えて水

俣市百間、八幡岡海岸の汚水の

除去、早急な病源究明などを陳

情するとともに、近く工場側に

も取りあえず水俣川に放出して

いる汚水の中止だけでもしてほ

しいと強く要望することになっ

た。